

平成26年度 集中講義「化学キャリアセミナー I」 日程表

講 師	題 目	日 時	教 室	担当教員
木山 理絵 先生 バイエルホールディング株式会社	外資系製薬企業での様々な働き方	10月15日(水) 13時～	G201	三方
藤原 直子 先生 産業技術総合研究所	公的研究機関における研究開発 －燃料電池を例として	10月29日(水) 13時～	G201	竹内
栄部 比夏里 先生 産業技術総合研究所	ポストリチウムイオン電池の開発と環 境・エネルギーにおける課題の解決	11月12日(水) 13時～	G201	片岡(靖)

・平成22～26年度入学生は選択必修(4回生ままでに毎年開講される化学キャリアセミナーI～IVのうち2科目2単位以上を取得することが必要)です。

・大学院生の来聴も歓迎します。

2014年8月21日
化学科教務

化学キャリアセミナー I 講義概要

1. 「外資系製薬企業での様々な働き方」

ゲストスピーカー：木山 理絵（バイエルホールディング株式会社），司会進行：三方 裕司

“MR (Medical Representative)” もしくは“医薬情報担当者”は製薬企業において非常に重要な役割を果たしているが、一般にはその存在および重要性が十分に正しく認知されているとは言えない。本講義では、MR の職務内容とその医療社会全体における重要性について解説するとともに、ゲストスピーカー自身がMRを目指したきっかけや実際にMRとして活動した際のやりがいや困難に立ち向かった時のエピソードなどを紹介する。また、人事部に異動した後の自身のキャリアについても触れ、働く女性を取り巻く環境の一例を紹介する。新卒採用を担当した経験をもとに、受講生がこれから就職活動を迎えるにあたって参考となる情報を提供し、受講生の疑問や不安に応えたい。

2. 「公的研究機関における研究開発－燃料電池を例として」

非常勤講師：藤原 直子（産業技術総合研究所），司会進行：竹内 孝江

地球環境保全とエネルギー問題に配慮した持続可能な社会の実現のため、化石燃料に依存しないエネルギー源の確保と、それを有効利用するための高効率のエネルギー変換システムの構築が重要である。本講義では、エネルギー変換装置の代表例として燃料電池を取り上げ、基本原理や特徴、研究開発動向、実用事例などについて概説する。また、独立行政法人 産業技術総合研究所に勤務する自身の経験を紹介し、学生が将来のビジョンを明確にするためのきっかけとしたい。

3. 「ポストリチウムイオン電池の開発と環境・エネルギーにおける課題の解決」

非常勤講師：栄部 比夏里（産業技術総合研究所），司会進行：片岡 靖隆

現在実用化されているリチウムイオン電池の用途拡大のため、主に高エネルギー密度化を目的として自身が検討を重ねているポストリチウムイオン電池の開発の一例を紹介します。この中でメーカーと国の研究機関との違い、そして家庭・育児と仕事の両立について悩みながら悪戦苦闘している毎日についても触れます。これから社会に出て女性がキャリアを積む中で向き合うであろう課題の一端を垣間見て、具体的なイメージを描いていただく機会としたいと考えています。